

## 令和2年度第1回「人吉市地域公共交通活性化協議会」結果報告

期 日：令和2年11月9日（月）

時 間：10：00～11：10

場 所：中小企業大学校 人吉校 2階 大教室

出席者：別紙名簿のとおり

結果：すべて承認（各議事における要旨は以下のとおり）

### 1 議事

議事（1）：令和元年度事業報告について

議事（2）：令和元年度決算報告及び監査報告について

（熊本運輸支局：小原支局長※オブザーバー）

- ・事業報告について2点質問。幹線系統を対象とした路線バスの再編は実施したのか、内容を教えてほしい。また、支線系統の再編の協議についても、どのような協議をしたか教えてほしい。
- ・利用促進について、豪雨災害を受けて乗合タクシーの見直しも必要になると思うが、乗合タクシーの講座の反響、感触、住民がどのような受け止め方をしたのか、講座の開催が利用促進につながったかを知りたい。

（事務局）

- ・幹線系統の再編実施と支線系統の協議内容について、市内に関するバスの計画に基づく再編の実施になるが、具体的な再編の実施が決まったわけではなく、事業者様と協議をしている段階で、明確な説明ができない状況。今後も協議し、方向性が決まったら会議の場で示したい。
- ・乗合タクシーの講座の参加者には、すでに利用している人、停留所の場所を知らない人がいるような状態で実施した。講座は、利用者が利用したことがない人に、「乗りやすいから使ってみてよ」「こうやって使えばいいんだよ」というような雰囲気があった。講座参加者がその後利用したかどうか聞いていないので、実際の利用促進につながったかわからないが、乗降場の場所、詳しく知りたい時にはどこに尋ねればよいか分かってもらえただけでも、普及につながったのではないかと感じている。

（熊本運輸支局：小原支局長※オブザーバー）

- ・路線バスの再編について、県全体で公共交通計画を策定する。県全体の計画なので、この計画も見ながら、人吉・球磨地域の路線バスをどうしていくかという考え方にシフトしていく必要がある。県とも情報共有しながら進めてほしい。
- ・利用促進策について、利用者が利用していない人に教えながら進んだというのは、よい取り組みだと思う。実際使っている人が教えるというスタイルが浸透していくよう、もう少しこういう場を増やしていければよいのではないかなと思う。

議事（３）：令和２年度事業計画（案）について

議事（４）：令和２年度予算（案）について

（人吉医療センター：西山委員）

- ・感染の防止対策面、マスク着用、車内の換気等、安心して乗れるような対応策について、コメントを入れると、参加者が安心して利用できるのではないかな。

（大分大学：大井委員）

- ・利用促進はよい取り組みだと思う。バスだけに掲出するのではなく、いろいろなところに広めてほしい。可能であれば学校等に告知をして、子どもから親御さんに伝えて「一緒にやりましょう」というのが、きっかけとしてはよいと思う。

（会長）

- ・新規事業なので、周知することが大事。家族で乗車するというような取り組みに発展していけばよいと思うので、事前周知を徹底してほしい。

（人吉市老人クラブ連合会：三倉委員）

- ・利用促進事業のお正月クイズラリーの抽選で５名というのは、少なすぎる感じがする。１０名くらいあった方がよいのではないかな。

（事務局）

- ・ご意見を参考に、予算を見比べながら、楽しんで盛り上がっていけるよう前向きに検討していきたい。

（熊本県人吉警察署交通課：富田係長）

- ・高齢者運転免許証自主返納制度の推進について、具体的な施策があれば教えてほしい。

（事務局）

- ・現在、バスと乗合タクシーで運賃が半額になるサービスを実施しており、今年度も継続する。今後拡充するという具体的な内容は検討していない。

（熊本県人吉警察署交通課：富田係長）

- ・新しい施策をするには期間が短いと思うが、継続していくことが、利用促進につながると思う。他の管内では、商店街で利用できる商品券や温泉券を配布したりいろいろな取り組みをしている。各市町村の取り組みを参考に、継続的な取り組みをお願いしたい。

（人吉温泉観光協会：中村専務理事）

- ・クイズラリーの名産品プレゼントは、観光協会としてはありがたい。公共交通を活性化させるのであれば、バスやタクシーの回数券の方が公共交通の利用促進につながるのではないかな。意見として検討してもらえれば。

（会長）

- ・意見を踏まえて、事務局で検討を。

（ＪＲ九州：西尾委員）

- ・くま川鉄道の代行バスは対象に含まれるかな。

（事務局）

- ・主に学生輸送で使われているため、くま川鉄道の代行バスは含めない。

（人吉球磨タクシー協会：北委員）

- ・西山委員からコロナ対策について意見が出たが、以前事務局にも問合せ、熊本県の対策援助があると聞いた。援助は自治体単位での申請との話。県から県タクシー協会に通知が来ていた。

(熊本県交通政策課：浦本課長補佐)

- ・市町村に交付する総合交付金という30億円規模のもので、市町村がメニューを実施したときに、市町村負担の1/2を県から市町村に交付する事業。県では7月から9月にかけて、コロナの交付金を使った応援事業として、タクシー以外の公共交通に対し、交付金を交付した。タクシーについては、今回の制度を利用してメニューを設けた。市町村が、タクシー事業者に対し、コロナ感染症対策の助成を行った場合、県が交付金として1/2を負担する。タクシーは各市町村でいろいろな形で役に立っていると思うので、メニューとして準備した。人吉市でも検討をお願いしたい。

(事務局)

- ・市内部でも検討しており、情報は市でも把握している。

(人吉市老人クラブ連合会：三倉委員)

- ・乗合タクシーにどのくらい乗っているか、数字が出るか？

(事務局)

- ・月々1,000人程度の利用があり、年間、延べ人数で11,000人～12,000人の利用があった。5路線あり、多い順に大畑方面、田野方面からまちなかに出てくる人が多い。

## 2 令和2年7月豪雨による地域公共交通の被災状況について

- ・各公共交通事業者から説明。
- ・説明に対する質問はありませんでした。

以上